

秋田駒ヶ岳紅葉山行報告

変化ある火山地形：ムーミン谷と男女岳北西斜面の圧巻の紅葉

【山城】 秋田県・奥羽山脈:秋田駒ヶ岳

【日程と天気】 2019年10月1日（火）

【メンバー】 菊池単独

【行程】

乳頭温泉—八合目駐車場（1310m）6：52—焼森—横岳（1582m）—ムーミン谷（1350m）—男岳（1623m）—阿弥陀池（周回）—男女岳北西斜面登山道（新道コース）—片倉展望台—12：25 八合目駐車場—乳頭温泉（蟹場温泉:混浴）—盛岡—新幹線—帰葉



- ・前日の宿泊地は乳頭温泉キャンプ場、休暇村黒湯で受付、入浴料を加え約2000円、2日間の汗を流しすっきり、広いキャンプ場には3張りのみ、小生が一番近い管理事務所脇のフリーサイトで過ごした。トイレは素晴らしくウォシュレット完備、サッポロ黒生と氷結350ml×2ですっかりいい気分になり早々と就寝した。朝はいつものように2時頃から目覚め、ラジオをしばらく聞いて、4時半頃にはテント撤収、朝食を食べて秋田駒8合目駐車場に向かった。三ツ石岳と栗駒は紅葉の時期が早い、秋田駒や八甲田を少し遅いとのことを前日の秋田からの単独者が語っていた。果たして秋田駒の紅葉はいかに?? 土日はマイカー規制をしていて8合目まで自車では入れないが、この日は大丈夫。狭い道路を慎重に進み上部に来ると朝日に照らし出された素晴らしい錦絵の斜面が望まれた。数回車を止め、写真撮影しないわけには行かない。素晴らしい紅葉ではないか、一気

にテンションは急上昇!!! 正に極彩色の錦絵である。最高!!! 写真撮影に夢中になっていると一台追い抜いて行った。

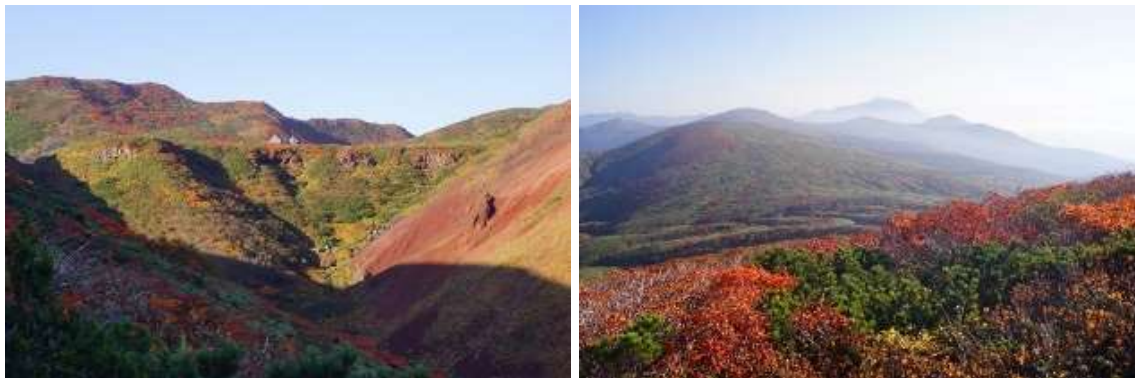


冷気漂う駐車場に到着すると、先行車は5～6台、多くは暗いうちに到着して車内で仮眠していたようだ。20年位前に来た時には最短ルートで登り最高地点の男女岳と男岳に登ったことは覚えているが、楽なショートルートでピークハントが目的であり、あまり印象に残っていない。

- 今回は横岳経由を目的にまず焼森に向かうルートを選択し6:52スタートした。沢の渡渉が一回あります。



暫く進むと阿弥陀池小屋のある台地が見えてきた。高度が上がってくると視界が開け、乳頭山や遠くに岩手山が望まれる。



火山礫の広い稜線から雲海に浮かんだ山々の景色が幻想的である。標高 1300m の 8 合目 駐車場をスタートして 56 分で標高 1551m の焼森に到着した。



男女岳・男岳・横岳と阿弥陀池です。岩手山方面です。



紅葉越しに国見からの登山道、雲海上の山並みが望めます。グレイトビューを独り占めです。国見からの登山道とムーミン谷の木道が見下ろせます。今回はこの谷を楽しむことにしました。旧噴火口のある女岳・小岳の下にムーミン谷の木道が見えます。



- 分岐部から暫く国見方向に火山礫の登山道を下ります。分岐部にはムーミン谷で熊の目撃情報が多いことが看板に記載されていました。分岐部で国見から登ってきた単独の高齢者と言葉を交わし緩い火山礫の道を進みます。大焼砂は富士山の大砂走りを思い浮かべます。ムーミン谷への分岐点で、火山礫斜面のトラバース道を男岳方向に進みます。



誰もいない静寂の世界、ワクワクし、不安を抱きながら進みます。左下は多彩な色彩の中に、白いダケカンバの幹が印象的です。三ッ石岳と同様、秋田駒の紅葉もカエデが多く、赤・橙・黄と多彩な色彩が楽しめます。



火山礫斜面のトラバースが終了し、錦の低木帯が少しありますが、その前にクマ除けの器具が備え付けてあり、何度も鳴らしました。いよいよ稜線から見たムーミン谷の木道です。夏はお花畑のようでチングルマの葉っぱが紫色に紅葉し、斜面や断崖の錦絵を楽しみながら進むことは、極上の贅沢ですね！！木道の両サイドはチングルマの紫色、右側の火山礫の斜面の下は極彩色の錦絵です。



さらに進み、前方の稜線下の断崖屏風から右斜面は火山礫のエリアを挟んで極楽浄土のようです。小さな池塘：かたがり泉水です。



ムーミン谷の木道から見る稜線方向の極彩色の斜面です。素晴らしい！！ 凄い！！



そこここにリンドウの花がありますが、閉じています。主役を紅葉に譲っています。さらに進みボトムまで行くと、円形の浮島のようなものがありますが、どうやら島状に生い茂っている草のエリアが降雨量などにより？池の中に残っているのでしょうか。近くに寄ってみると水面下の地面から生えているのが分かりました。



横岳の稜線下の迫力の岩壁です。ムーミン谷木道の終盤です。男岳下の迫力ある岩峰が迫っています。何とか熊には遭遇せずに済みました。火山地形のルートは変化に富んで素晴らしいですね。



横岳と男岳のコル（1580m）まで標高差 239mの登りが始まりました。草に隠れて登山道は遠目にはやや不明瞭ですが、歩いてみると明瞭な道で、そろそろ稜線から下ってくるPとすれ違う時間となりました。稜線直下はかなり急な落石注意エリアが少しありますが問題はありません。呼吸を整えながらゆっくり登りました。



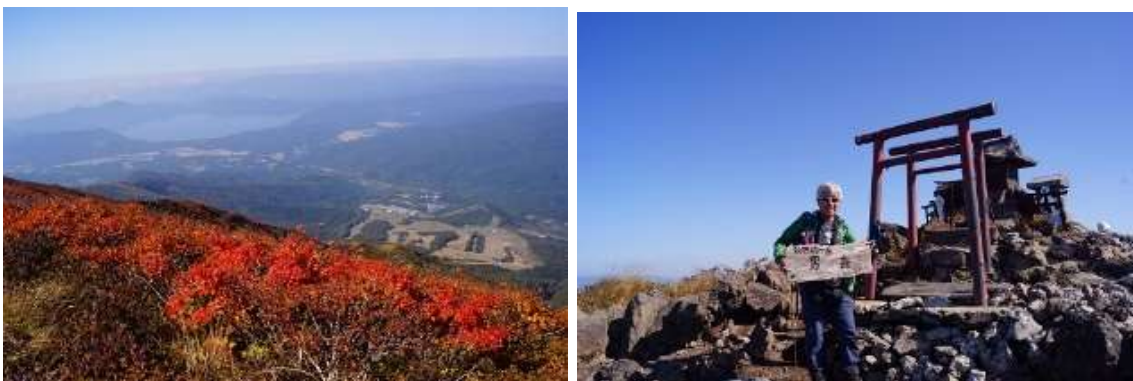
コルの分岐点に到着しました。旧噴火口のある女岳と小岳と通過してきたムーミン谷の木道が見えます。阿弥陀池から続々とハイカーが登ってきます。秋田駒ヶ岳は秋田県第一の高峰であり、有史時代の噴火は4回あり、もっとも最近では女岳（1512m）は1970年9月17日に噴火した。



・男岳山頂まであとわずか、岩稜帯が少しありハイカーが大勢登っており、小生もゆっくり続きました。後ろを振り返るとこんな感じです。阿弥陀池の向こうに岩手山、横岳からの稜線が続いていました。



山頂から紅葉越しにスキー場と田沢湖が俯瞰できます。山頂（1623m）で記念撮影していただきました。



阿弥陀池に降り立ち、一周しました。最高峰の男女岳（1637m）には大勢のハイカーが登っていましたが、小生は割愛、時計回りに男女岳の北側の登山道も紅葉狩りしながら楽しむこととした。



・男女岳の斜面をほぼ水平に回り込んでいくと、徐々に赤主体の錦絵のエリアが広がってきます。ここもカエデの紅葉が主体で濃淡があります。紅葉を満喫できる登山道です。



男女岳の北西斜面のこの登山道はまさに紅葉の天国ですね！！



八合目駐車場が見えてきました。車から見えた朝陽に照らされた素晴らしい紅葉の斜面は、目の前のこの斜面だったのです。フィナーレ間近、艶やかな紅葉と荒涼たる火山の迫力が対照的です。



噴火で飛ばされた大岩が凄いです。2000年の初登頂の時はここからの硫黄鉱山跡を通る旧道を辿ったようですが、現在は閉鎖されています。



- ・下山後乳頭温泉の最奥にある蟹場温泉（混浴）を楽しみ、盛岡まで約2時間、海鮮丼とビールを楽しみ新幹線に乗り込んだ。東北（奥羽山脈）遠征の大満足の紅葉山行は終了しました。

